



平成24年9月18日
内閣府（防災担当）

南海トラフ巨大地震対策協議会（第2回）について

1. 協議会の概要

日 時：平成24年8月10日（金）13:00～15:00

場 所：有明の丘基幹的広域防災拠点施設内

出席者：中川内閣府特命担当大臣（防災）、原田統括官、各府省庁、関係地方公共団体、指定
公共機関等 119機関、174名

2. 議事概要

南海トラフ巨大地震モデル検討会及び対策検討ワーキンググループの検討状況、防災対策推進検討会議最終報告、PFI事業を活用した避難ビル建設、地震等に対する調査研究や防災教育、学校の耐震化等の取組について内閣府及び文部科学省より説明後、前回の協議会で提出された要望等に対する回答を説明し、さらに地方公共団体よりブロック協議会の取組状況について説明して今後の協議会の運営等について意見交換を行った。

主な意見等は以下のとおり。

- 津波防災地域づくりに関する法律に示す海岸保全施設等の整備のため、これら施設とレベル1の津波との関係や位置付けを明らかにしていただきたい。
- ブロック協議会の構成員で訓練を行えるように取組んでいくことが重要である。
- ブロック協議会の構成員として、地方指定公共機関等地方で重要な役割をする団体等を含めるか検討が必要である。
- 協議会を通じて、顔の見えるネットワークの構築、訓練の実施、防災に係る人材育成をしていくことが重要である。